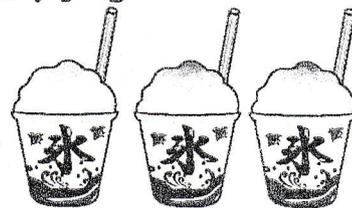


あきやま子どもクリニックニュース2020年8月号

夏休みになると、子ども達の宿題を思い出します。特に自由研究には頭を悩ませました。毎年、自由研究の一つとして日記に取り組みました。1年生は絵日記でしたが、6年生の時には漢字が混じる文章になり、子どもの成長を見ることができました。親の宝物にもなります。



院長より

「コロナ禍でのクリニック」

コロナ禍で、手洗い・うがい・マスク着用を励行してもらうことで、子どもの感染症が激減しており、とても喜ばしいことです。この習慣をずっと続いてほしいと思います。

小児科クリニックも新しい診療を模索しています。まずは、IT環境を整えたいと思います。予約システム、WEB問診など取り入れていきますので、どうぞよろしくお願い致します。



最近の流行っている病気

鼻水と1日だけの発熱の風邪、咳がひどい風邪があります。また、嘔吐・下痢の急性胃腸炎がありますが、食中毒と区別しなければなりません。

感染症として、突発性発疹、溶連菌感染症、流行性耳下腺炎があります。

新型コロナウイルス感染症に関して、当院でPCR検査や抗原迅速検査が可能です。その際には検査条件に照らして実施していますので、ご相談ください。

Mama&Baby



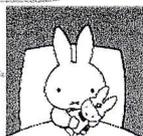
先日、以前利用された方が成長したお子さんを見せに来てくださいました。ここではようやく首が座って、ニコニコしながらあーうーと声を出していた赤ちゃんが、9か月になり離乳食をしっかり食べ、身体も大きく成長していました。ママと私を見比べて、目線で「だれ？」と問いかけているようでした。ママも生き生きとされていて、素敵に育児をされているんだなあとうれしく思いました。誰でも最初は新米ママに赤ちゃん。そのスタートに関わってうれしいです。

(文責 酒井敏恵)

訪問看護ステーション

この毎月のお便りは、訪問先のご家族以外の方にも、ぜひ見ていただきたいと思っています。障害を持って生活する大変さ、その中でも素敵なことはたくさんある事、日々の小さな事でもお伝えしていければと思います。地域の方に知ってもらおう事で、生活もより広がっていくのではないかと思います。ご意見も大募集です！(文責 梅田可愛)

病児保育室便り



緊急事態宣言が解除され病児保育室を利用するお子さんも少人数ではありますが増えてきました。

今回はお子さんの遊びの中で少し変化があったので紹介したいと思います。

病児保育室にはメルちゃんのお人形があります。お子さんはメルちゃんに食事をさせたり着替えをさせたり布団で寝かせつけをしたり、たくさんのお世話をしています。

先日解除後に利用したお子さんがいつもの様にお世話をしていると「せっけんつけて手を洗いましょうね。」と言いながら手洗いをしていました。以前からも生活の中で手洗いは行ってきましたが、お子さんの中で手洗いに対する意識が変わったのだと感じました。

(文責 千葉美香)

かかりつけ医に登録している方(ゴールドカードの方)は、9月よりインフルエンザの事前予約を開始します。HPで御確認下さい。一般の方は10月からの予約になります。

今月の代診と休診

8日(土) 午前診療 宗像先生
26日(水) 午後診療 宗像先生



木曜日早朝・午前診療は濱野先生、午後診療は宗像先生です。

夏休みは8月9日～17日です。
18日から通常通りです